



System i

System i 接続

System i ナビゲーターについて

バージョン 6 リリース 1







**System i**

**System i 接続**

**System i ナビゲーターについて**

バージョン 6 リリース 1

**ご注意**

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、23 ページの『特記事項』に記載されている情報をお読みください。

本書は、IBM i5/OS (プロダクト番号 5761-SS1) のバージョン 6、リリース 1、モディフィケーション 0 に適用されます。また、改訂版で断りがない限り、それ以降のすべてのリリースおよびモディフィケーションに適用されます。このバージョンは、すべての RISC モデルで稼働するとは限りません。また CISC モデルでは稼働しません。

お客様の環境によっては、資料中の円記号がバックスラッシュと表示されたり、バックスラッシュが円記号と表示されたりする場合があります。

原 典： System i  
Connecting to System i  
Getting to know System i Navigator  
Version 6 Release 1

発 行： 日本アイ・ビー・エム株式会社

担 当： ナショナル・ランゲージ・サポート

---

## 目次

<b>System i ナビゲーターについて</b> . . . . .	<b>1</b>	System i ナビゲーターの作業 . . . . .	19
V6R1 の新機能 . . . . .	3	System i ナビゲーターの関連情報 . . . . .	21
「System i ナビゲーターについて」の PDF ファイル	3		
System i ナビゲーターの各リリースの機能 . . . . .	4	<b>付録. 特記事項</b> . . . . .	<b>23</b>
System i ナビゲーターのインストール要件 . . . . .	16	商標 . . . . .	24
System i ナビゲーターのインストール . . . . .	17	資料に関するご使用条件 . . . . .	25
システム接続の System i ナビゲーターへの追加 . . . . .	18		

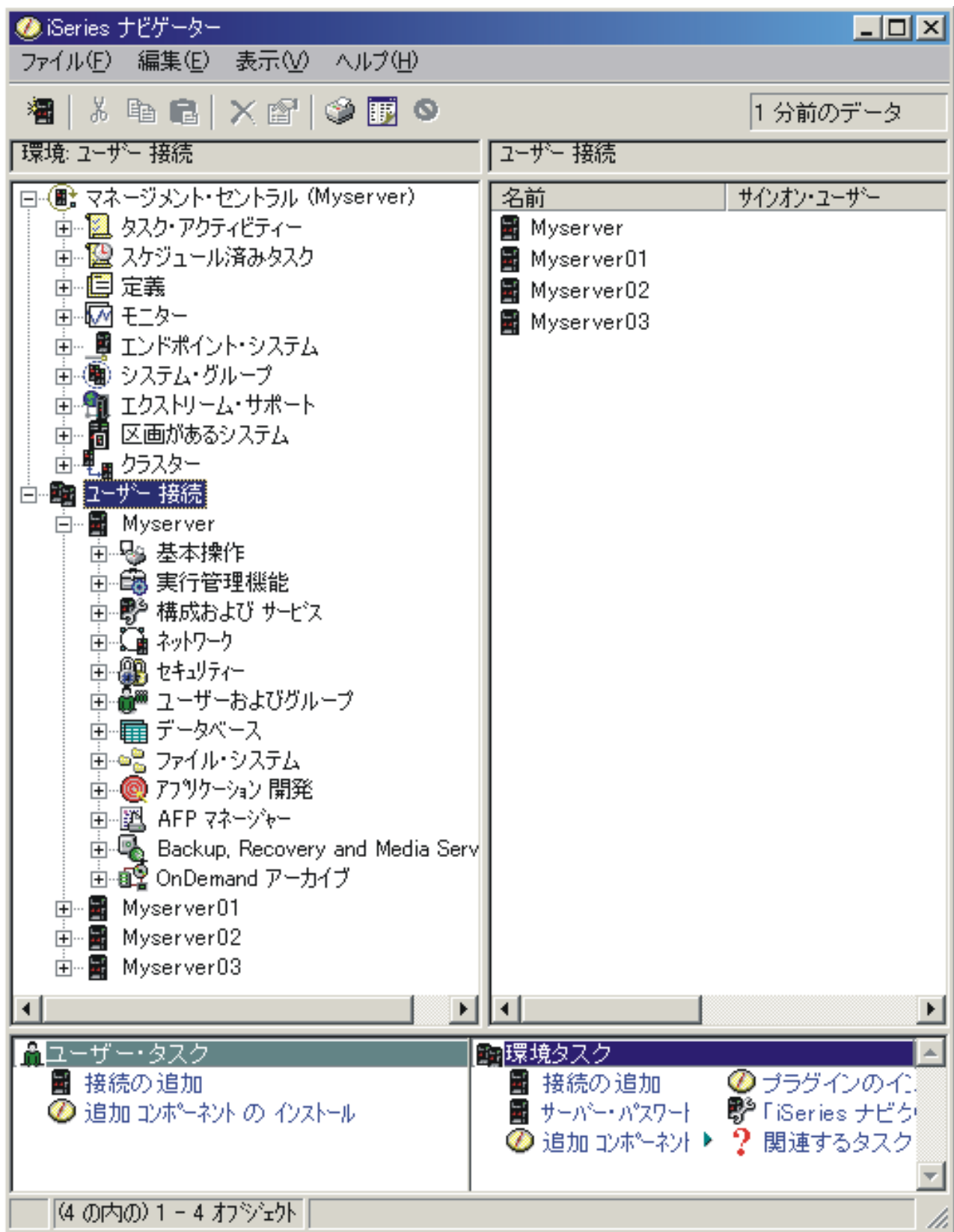


---

## System i ナビゲーターについて

System i™ ナビゲーターは、Windows® クライアントのグラフィカル・インターフェースです。System i ナビゲーターを使用すれば、グラフィカル・インターフェースを使用して、ご使用のシステムを管理することができます。

以下に、System i ナビゲーターのメインウィンドウの例を示します。




この例では、ウィンドウの左側に System i ナビゲーターの階層ツリー・ビューが表示されています。これは、グラフィカル・インターフェースでよく使用されているような一般的なユーザー・インターフェースになっています。これによって、文字ベースのインターフェースを覚える必要もなくなります。 System i ナ





ナビゲーターの機能には、システムのナビゲーション、構成、システム管理、およびモニターなどの機能があります。System i ナビゲーターのタスクの実行方法の段階的な説明については、System i ナビゲーターのオンライン・ヘルプを参照してください。

---

## Ⅰ V6R1 の新機能

- Ⅰ 本リリースにおける System i ナビゲーターの新機能または拡張機能を参照してください。
- Ⅰ V6R1 における System i ナビゲーターの新機能または拡張機能の要約を参照するには、「IBM® System i ナビゲーター: What's New Web page 」にアクセスしてください。
- Ⅰ 以下のトピックも参照してください。
  - Ⅰ • System i ナビゲーター (ワイヤレス対応): V6R1 の新機能
  - Ⅰ • System i ナビゲーター・タスク (Web 対応): V6R1 の新機能
  - Ⅰ • アプリケーション管理: V6R1 の新機能

## Ⅰ 新機能または変更点を確認する方法

- Ⅰ 技術上の変更が行われた箇所を見分ける上で役立つように、Information Center では以下の記号を使用しています。
  - Ⅰ •  イメージは、新規情報または変更情報の開始位置を示します。
  - Ⅰ •  イメージは、新規情報または変更情報の終了位置を示します。
- Ⅰ PDF ファイルでは、新規または変更された情報の左マージンにリビジョン・バー (|) が表示されることがあります。
- Ⅰ このリリースでの新機能または変更点についてのその他の情報は、「プログラム資料説明書」を参照してください。

---

## 「System i ナビゲーターについて」の PDF ファイル

この情報の PDF ファイルを表示および印刷することができます。


この文書の PDF バージョンを表示またはダウンロードするには、「System i ナビゲーターについて」を選択します。

### PDF ファイルの保存

表示用または印刷用の PDF ファイルをワークステーションに保存するには、次のようにします。

1. ご使用のブラウザで該当の PDF リンクを右クリックする。
2. PDF をローカル側で保管するオプションをクリックする。
3. PDF を保管したいディレクトリーに進む。
4. 「保存」をクリックする。

## Adobe Reader のダウンロード

これらの PDF を表示または印刷するには、Adobe® Reader がシステムにインストールされている必要があります。Adobe Reader は、Adobe の Web サイト ([www.adobe.com/products/acrobat/readstep.html](http://www.adobe.com/products/acrobat/readstep.html))  から無償でダウンロードすることができます。

### 関連資料

21 ページの『System i ナビゲーターの関連情報』

IBM Redbooks™ 資料、Web サイト、およびその他の Information Center のトピック・コレクションには、System i ナビゲーターに関連する情報が掲載されています。以下の PDF ファイルのいずれも表示または印刷できます。

## System i ナビゲーターの各リリースの機能

接続しているシステムで使用可能な System i ナビゲーターの機能は、そのシステムで実行しているオペレーティング・システムのバージョンによって異なります。

i5/OS® のオペレーティング・システムの各リリースで使用可能な機能については、以下の表を参照してください。



注: 表の中のチェック・マーク (  ) は本リリースでサポートされている機能を示し、チェック・マークと正符号 (  ) は本リリースで拡張された機能を示します。

表 1. System i ナビゲーターの機能

機能	説明	V5R3	V5R4	V6R1
マネージメント・セントラル				
マネージメント・セントラル	複数の System i プラットフォームを管理します。			
モニター				
	システム・モニター - 1 つ以上のシステムのリアルタイム・パフォーマンスをモニターします。			
	ジョブ・モニター - 1 つ以上のシステム上のジョブをモニターします。			
	メッセージ・モニター - 1 つ以上のシステム上のメッセージをモニターします。			
	B2B 活動モニター - B2B トランザクションをモニターします。			
	ファイル・モニター - ファイルにおけるすべての変更、または特定のテキスト・ストリングをモニターします。			

表 1. System i ナビゲーターの機能 (続き)

機能	説明	V5R3	V5R4	V6R1
	グラフ・ヒストリー - 複数の日、週、月、または年にわたって収集されたパフォーマンス・データのグラフィカル表示を提供します。			
コマンド	コマンドを実行および保管します。			
パッケージ	オブジェクトを作成、保管、および配布します。			
ハードウェアおよびソフトウェア・インベントリ	インベントリを収集および表示します。			
修正インベントリ	ソフトウェアの修正 (PTF) を管理します。			
スケジューリング	マネージメント・セントラルのタスクをスケジュールに入れます。			
収集サービス	パフォーマンス・データを収集します。			
システム値	システム値を表示、変更、および配布します。			
ユーザーおよびグループ管理の配布	ユーザーおよびグループを作成、保存、および配布します。			
ライセンス・プログラムのインストール	LP と修正を作成し、配布およびインストールします。			
エクストリーム・サポート	個人情報設定されたサービスおよび電子サポートを保護します。			
Secure Sockets Layer (SSL) サポート	セントラル・システムとエンドポイント・システムの間の送信を保護します。			
	拡張 SSL と認証 - 1 つのシステムにサインオンして、他のシステムから認識されます。			
日付と時刻の同期化	「システム値を比較して更新」を使用して、システムのネットワーク内の日時を同期化します。			
証明済みクラスター	クラスター環境で稼働中のマネージメント・セントラルの高可用性。			
EIM と Kerberos の構成の同期化	「機能の同期化」ウィザードを使用して、モデル・システムからエンドポイントへ EIM と Kerberos の構成を複製します。			

表 1. System i ナビゲーターの機能 (続き)

機能	説明	V5R3	V5R4	V6R1
System i ナビゲーター (ワイヤレス対応)				
System i ナビゲーター (ワイヤレス対応)	システムのパフォーマンスと状況をリモートでモニターします。			
System i ナビゲーター 一・タスク (Web 対応)				
System i ナビゲーター 一・タスク (Web 対応)	Web ブラウザーから直接アクセス可能な System i ナビゲーター・タスクを選択します。			
基本操作	i5/OS メッセージ、プリンター出力、プリンター、およびジョブを管理します。			
	メッセージ			
	プリンター			
	プリンター出力			
	ジョブ			
コマンド・プロンプター	Web から CL コマンドを求めるプロンプトを表示します。			
実行管理機能	毎日のシステム操作およびワークロードを管理します。			
	アクティブ・ジョブ			
	サーバー・ジョブ			
	ジョブ待ち行列			
	サブシステム			
	出力待ち行列			
	メモリー・プール			
	システム状況			

表 1. System i ナビゲーターの機能 (続き)

機能	説明	V5R3	V5R4	V6R1
データベース	Web から DB2® for i5/OS を管理します。			
	表、オブジェクト、ビュー、ジャーナル、および索引。			
	制約			
	順序			
	SQL プロシージャおよびパッケージ			
	スキーマ			
	データベース・パフォーマンス・モニター			
	データのインポートおよびエクスポート			
ハードウェア	Web から System i ハードウェアを管理します。			
	構成およびサービス			
ネットワーク	Web から i5/OS TCP/IP 構成および他の通信を管理します。			
	TCP/IP サーバー			
	ユニバーサル・コネクション・ウィザード			
インテリジェント・エージェント				
インテリジェント・エージェント・サポート	ご使用のシステムを保守するために、自律型 Java™ エージェントを作成および管理します。			
アプリケーション管理				
アプリケーション管理	ユーザーの機能へのアクセスを制御します。			
プラグインの管理	ユーザーの System i ナビゲーター・プラグインへのアクセスを制御します。			

表 1. System i ナビゲーターの機能 (続き)

機能	説明	V5R3	V5R4	V6R1
中央管理	アプリケーション管理の設定を中央で行うように、管理システムを定義します。			
基本操作 基本操作	メッセージのリスト、プリンター出力、およびプリンターを管理します。			
メッセージ	メッセージを処理します。			
プリンター	プリンターを管理します。			
プリンター出力	プリンター出力を処理します。			
	プリンター出力の切り取り、コピー、貼り付け、およびドラッグを行います。			
AFP™ ワークベンチ・ビューアー	プリンター出力を表示します。			
ジョブ	ユーザー・ジョブを処理します。			
ジョブ・ログ	ジョブ用のジョブ・ログを表示します。			
コマンド・プロンプター グラフィカル CL コマンド・プロンプター	System i ナビゲーター内部の CL コマンドを求めるプロンプトを表示します。			
実行管理機能 実行管理機能	システム操作とシステムの毎日のワークロードを管理します。			
アクティブ・ジョブ	アクティブ・ジョブを処理します。			
	呼び出しスタック - アクティブ・ジョブの呼び出しスタックを表示します。			
	ライブラリー・リスト - アクティブ・ジョブのライブラリー・リストを表示します。			
	ロックされたオブジェクト - アクティブ・ジョブ用のオブジェクト・ロックを処理します。			

表 1. System i ナビゲーターの機能 (続き)

機能	説明	V5R3	V5R4	V6R1
	オープン・ライブラリー・オブジェクト - アクティブ・ジョブ用のオープン・ライブラリー・オブジェクトを表示および処理します。			
	オープン・ファイル・システム・オブジェクト - アクティブ・ジョブ用のオープン・ファイル・システム・オブジェクトを表示および処理します。			
	経過パフォーマンス統計 - 経過パフォーマンス統計を使用して、ジョブのパフォーマンスをモニターします。			
	スレッド - アクティブ・ジョブの下で実行されるスレッドを処理します。			
	トランザクション - アクティブ・ジョブに付加されたトランザクションを処理します。			
	最終 SQL ステートメント - アクティブ・ジョブによって実行された最新の SQL ステートメントを処理します。			
サーバー・ジョブ	サーバー・ジョブを処理します。			
ジョブ待ち行列	アクティブおよびすべてのジョブ待ち行列を処理します。			
サブシステム	アクティブなサブシステムを処理します。			
メモリー・プール	メモリー・プールを処理します。			
出力待ち行列	システム上のすべての出力待ち行列を処理します。			
システム状況	迅速かつ簡単にシステムの状況を検査します。			
ハードウェア構成およびサービス	ご使用のシステムのハードウェアとソフトウェアを管理します。			
	システム値 - すべてのシステム値を処理します。			

表 1. System i ナビゲーターの機能 (続き)

機能	説明	V5R3	V5R4	V6R1
	時間管理 - 時間を調整して、タイム・ゾーンを管理します。			
	ハードウェア・インベントリー - システムのハードウェアを表示します。			
	ソフトウェア・インベントリー - システムのソフトウェアを表示します。			
	ヒストリー・ログ - システム・ヒストリー・ログ内のメッセージを表示します。			
ディスク管理	ご使用のシステムのディスク装置を管理します。			
	ディスク装置の平衡化、状況、および容量を処理します。			
	ディスク装置、HSM、および圧縮を管理します。ディスク装置を追加、移動、および除去します。			
	独立ディスク・プールをセットアップして管理します。			
	グラフィカル表示 - パリティ・セット、ミラー保護された対、アクティブなもの、およびその他のディスク装置を表示します。			
	グラフィカル・ビューを印刷します。			
	パリティ・セット - パリティを開始、停止、および再同期化します。			
	パリティ・セット - パリティの最適化を変更します。			
	リモート・ミラーリング - 他のサイトのシステムに独立ディスク・プールをミラーリングします。			
LPAR 構成	ローカルの区画を構成および管理します。			
単純クラスター構成	2 つのノードのクラスターを構成および管理します。			



表 1. System i ナビゲーターの機能 (続き)

機能	説明	V5R3	V5R4	V6R1
磁気テープ装置	独立型の磁気テープ装置とテープ・ライブラリーをサポートします。			
	磁気テープ・イメージ・カタログ。			
	仮想磁気テープ装置。			
ネットワーク ネットワーク機能	ご使用の i5/OS TCP/IP 構成と他の通信インターフェースをウィザードを使用して管理し、新しいシステムを構成し、TCP/IP が開始した時点で、ワン・ステップでシステムを始動します。			
	IBM Web Administration for i5/OS のような、i5/OS インターネット・アプリケーションにアクセスします。			
	Point-to-Point 通信を管理します。			
	TCP/IP インターフェースをセットアップして管理します。			
	ドメイン・ネーム・システム (DNS)、動的ホスト構成プロトコル (DHCP)、i5/OS Support for Windows Network Neighborhood (i5/OS NetServer™)、ネットワーク・ファイル・システム (NFS)、データ通信機器 (DCE)、ディレクトリー・サーバー (LDAP) を含むアプリケーションをセットアップおよび管理します。			
	IP セキュリティーをセットアップおよび管理します。			
	仮想プライベート・ネットワーキング (VPN) をセットアップします。			
	追加の IP インターフェースと L2TP、ISDN、WAN、および無線 IP を介した回線タイプ (PPP など) を管理します。			

表 1. System i ナビゲーターの機能 (続き)

機能	説明	V5R3	V5R4	V6R1
	TCP/IP のサービス品質を管理します。			
	NetStat - インターフェース、経路、接続、物理インターフェースのアクティビティーに関する詳細な情報。			
エンタープライズ識別マッピング (EIM)	クロスプラットフォームにおける低コストのシングル・サインオン。			
	マッピング・ポリシーを作成して管理します。			
	EIM マッピングをテストします。			
	x.509 とデジタル証明書をサポートします。			
I 統合サーバー管理				
統合されたオペレーティング・システムおよび環境	統合された Windows サーバーを管理します。			
	Integrated xSeries® Server (IXS)、Integrated xSeries Adapter (IXA)、および Internet SCSI ホスト・バス・アダプター (iSCSI HBA) ハードウェアを使用する 統合サーバー をサポートします。			
	統合サーバー を開始および停止して、サーバーの状況を表示します。			
	ご使用の 統合サーバー のユーザーとディスク・ストレージを管理します。			
	統合された AIX® および Linux® サーバーを管理します。			
セキュリティ セキュリティ	オブジェクト権限とセキュリティのシステム値。			
暗号サービス鍵管理	暗号マスター・キーおよび鍵ストアを管理します。			

表 1. System i ナビゲーターの機能 (続き)

機能	説明	V5R3	V5R4	V6R1
侵入検知	システム上の侵入検知を構成、管理、モニターします。			
許可	オブジェクト権限を管理します。			
セキュリティー・ポリシー	セキュリティーと監査ポリシーを維持します。			
セキュリティーの構成ウィザード	セキュリティーを構成します。			
ユーザーおよびグループ	i5/OS のユーザーとグループを管理します。			
Secure Sockets Layer (SSL) サポート	System i アプリケーションを保護するために SSL を使用します。			
ネットワーク認証サービス	ユーザーを認証するために Kerberos チケットを簡単に作成および管理します。			
	keytab エントリーを作成および管理します。			
オブジェクトの署名とシグニチャーの確認				
データベース データベース・サポート	DB2 for i5/OS の管理。			
複数データベース	独立ディスク・プールを使用することで、複数のデータベースをサポートできるようになりました。			
DB2 オブジェクトの管理	複合オブジェクト、プロシージャー、および関数を処理します。			
	表、ビュー、ジャーナル、索引、および別名。			
	オブジェクト、区画に分割された表を順番に配列したり、検査保留の制約、具体化されたクエリー表の検査などを行います。			
	コンテナが編成するオブジェクト。			

表 1. System i ナビゲーターの機能 (続き)

機能	説明	V5R3	V5R4	V6R1
表の再編成	表の再編成の進行を停止、再開、および表示します。			
SQL	SQL スクリプトを作成、保管、および実行します。			
	SQL パフォーマンス・モニターを使用して、SQL のパフォーマンス・データを収集および表示します。			
	SQL プラン・キャッシュを使用して、SQL のパフォーマンス・データを収集および表示します。			
	SQL プラン・キャッシュのイベント・モニターを使用して、SQL のパフォーマンス・データを収集および表示します。			
	SQL のパフォーマンス・データをスプレッドシートに保存します。			
	SQL スクリプトをホスト物理ファイルに保存するか、あるいはホスト物理ファイルから SQL スクリプトを開きます。			
	「SQL 表示」を使用して、データベース・アクションの実行に使用する SQL ステートメントを表示します。			
Visual Explain	SQL オブジェクト・スキーマをサポートするために拡張されたライブラリー・サポート。			
	クエリーの視覚的な記述。			
	実行中のクエリーの視覚的な記述を最新表示します。			
データベース・ナビゲーター	データベースの視覚的な記述。			
iSeries™ グラフィカル・デバッガー	SQL スクリプトから起動および実行されます。			

表 1. System i ナビゲーターの機能 (続き)

機能	説明	V5R3	V5R4	V6R1
ヘルス・センター	SQL スキーマを使用して、表のサイズ制限をテストします。			
	環境に関する制限およびデータベース・オブジェクトのアクティビティ・カウントを表示します。			
索引アドバイザー	CQE および SQE から索引のアドバイス情報を表示します。			
Integrated File System (IFS)				
Integrated File System (IFS)	統合されたファイル・システムを処理します。			
	IFS ファイルの切り取り、コピー、貼り付け、作成、および名前変更を行います。			
	QSYS オブジェクトのドラッグ、切り取り、コピー、および貼り付けを行います。			
動的マウント情報	ユーザー定義ファイル・システム (UDFS) やネットワーク・ファイル・システム (NFS) のようなシステムのマウント・ファイル・システムのプロパティを表示します。			
ファイル共有	ネットサーバーのファイル共有をリストおよび処理します。			
フォルダー属性情報	フォルダーの属性およびその内容を収集し、ユーザーが収集されたデータを処理したり、カスタマイズされたレポートを表示したりできるようにします。			
追加の属性	オブジェクト属性を表示します。			
ウイルス・スキャン	サード・パーティーのウイルス・スキャン・ソフトウェアを使用した、ファイルのスキャンのサポートを提供します。			
Advanced Function Printing™ (AFP)				
AFP マネージャー	AFP リソース、フォント・マッピング・テーブル、および 印刷サービス機能™ (PSF) を管理します。			
インテリジェント・ルーティング	ストリーム・ファイル、スプール・ファイル、または PDF の出力ファイル用の電子メールの任意の組み合わせを指定します。			

表 1. System i ナビゲーターの機能 (続き)

機能	説明	V5R3	V5R4	V6R1
バックアップ バックアップ	バックアップをスケジュールします。			
バックアップ、回復、お よびメディア・サービス (BRMS)	バックアップ、回復、お よびメディア・サービス (BRMS)			
	グローバル・ポリシー・プロパティ			
	HTML ベースのレポートを表示および保管し ます。			
	メディアを再利用します。			
	デバイスを管理します。			
	フォルダー、ライブラリーおよびライブラリー・ オブジェクトのバックアップ・ポリシーの省略。			
	プリンター出力とアーカイブ・オブジェクトを復 元します。			
アプリケーション開発 アプリケーション開発	アプリケーション開発ツールを処理します。			
プラグイン・サポート Java	Java を使用して、プラグインを作成します。			
C++	C++ を使用して、プラグインを作成します。			
Visual Basic	Visual Basic を使用して、プラグインを作成しま す。			

## System i ナビゲーターのインストール要件

System i ナビゲーターをインストールするには、ご使用の PC のハードウェアおよびソフトウェアが特定の要件を満たしている必要があります。

- System i ナビゲーターのインストール元となるシステムには、System i Access for Windows をインストールしておく必要があります。System i Access for Windows のインストール要件について詳しくは、『PC を System i Access for Windows 用にセットアップするための前提条件』を参照してください。

ただし、System i ナビゲーターを使用して接続するシステムには、System i Access for Windows は必要ありません。これらのシステムに関する唯一のソフトウェア要件は、i5/OS ホスト・サーバー・オプション (i5/OS オペレーティング・システムをインストールする際のオプション 12) です。

- 注: System i ナビゲーターでは、Itanium® プロセッサはサポートしません。

#### 関連タスク

『System i ナビゲーターのインストール』

System i ナビゲーターのフィーチャーはすべて System i Access for Windows に同梱されています。ユーザーの PC がハードウェアおよびソフトウェアの要件を満たしている場合は、System i Access for Windows をインストールする際に、System i ナビゲーター・フィーチャーをインストールする必要があります。

---

## System i ナビゲーターのインストール

System i ナビゲーターのフィーチャーはすべて System i Access for Windows に同梱されています。ユーザーの PC がハードウェアおよびソフトウェアの要件を満たしている場合は、System i Access for Windows をインストールする際に、System i ナビゲーター・フィーチャーをインストールする必要があります。

#### 前提条件

System i ナビゲーターのインストール元となるシステムには、System i Access for Windows をインストールしておく必要があります。ただし、System i ナビゲーターを使用して接続するシステムには、System i Access for Windows は必要ありません。これらのシステムに関する唯一のソフトウェア要件は、i5/OS ホスト・サーバー・オプション (i5/OS オペレーティング・システムをインストールする際のオプション 12) です。

System i ナビゲーターを PC にインストールするには、『System i Access for Windows の PC へのインストール』の指示に従ってください。System i ナビゲーターおよび System i Access for Windows のすべてのフィーチャーをインストールするには、「フル・インストール (Complete installation)」オプションを選択します。

「フル・インストール (Complete installation)」オプションを使用しない場合は、以下のステップに従って System i ナビゲーター・フィーチャーをインストールしてください。

- System i Access for Windows のインストール時に、「カスタム」インストール・オプションを選択する。
- 「カスタム・セットアップ (Custom Setup)」ウィンドウで、System i ナビゲーター・フィーチャーを展開し、すべてのサブフィーチャーを表示する。

はじめて System i Access for Windows をインストールする場合は、System i ナビゲーターの一部のサブフィーチャーのみが事前に選択されています。各フィーチャーの横にあるアイコンは、そのフィーチャーのインストール状態を示します。

- System i ナビゲーターの横にあるアイコンをクリックし、インストール状態を変更してすべてのサブフィーチャーをインストールする。

4. インストールしないサブフィーチャーを選択解除するには、対象のサブフィーチャーの横のアイコンをクリックして、インストール状態を使用不可に変更する。

System i ナビゲーターの前のリリースを PC にインストールしている場合は、この新しいリリースにアップグレードするためのデフォルト・アクションにより、現在インストールされているものと同じ System i ナビゲーター・フィーチャーがインストールされます。フィーチャーを追加または除去するには、「カスタム・インストール」を選択し、前述のステップに従って、インストールするフィーチャーを選択してください。

#### 関連概念

16 ページの『System i ナビゲーターのインストール要件』

System i ナビゲーターをインストールするには、ご使用の PC のハードウェアおよびソフトウェアが特定の要件を満たしている必要があります。

19 ページの『System i ナビゲーターの作業』

System i ナビゲーターを使用して、多数のシステム管理タスクを実行することができます。

#### 関連タスク

『システム接続の System i ナビゲーターへの追加』

System i ナビゲーターのインストールが完了したら、System i ナビゲーターへの接続を追加する必要があります。

#### 関連情報

System i Access for Windows

System i Access for Windows インストールおよびセットアップ

PC のセットアップ

---

## システム接続の System i ナビゲーターへの追加

System i ナビゲーターのインストールが完了したら、System i ナビゲーターへの接続を追加する必要があります。

System i ナビゲーターへの接続を追加するには、以下の手順に従ってください。

1. Windows デスクトップの「**System i ナビゲーター**」アイコンをダブルクリックする。
2. 「はい」をクリックして接続を作成する。
3. 「接続の追加」ウィザードの指示に従う。
4. 別のシステム接続を追加するには、System i ナビゲーターのメインウィンドウで、「ファイル」 → 「サーバーへの接続」 → 「接続の追加」の順にクリックする。

System i ナビゲーターが動作するようになったら、System i ナビゲーター・オンライン・ヘルプにある各タスクの実行方法の説明を参照してください。

#### 関連タスク

17 ページの『System i ナビゲーターのインストール』

System i ナビゲーターのフィーチャーはすべて System i Access for Windows に同梱されています。ユーザーの PC がハードウェアおよびソフトウェアの要件を満たしている場合は、System i Access for Windows をインストールする際に、System i ナビゲーター・フィーチャーをインストールする必要があります。



---

## System i ナビゲーターの作業

System i ナビゲーターを使用して、多数のシステム管理タスクを実行することができます。

System i ナビゲーターのインストールが完了したら、System i ナビゲーターで実行できる個々のタスクすべてについて、オンライン・ヘルプの段階的な説明に従ってください。System i ナビゲーターのメインウィンドウで、「ヘルプ」→「ヘルプ・トピック」をクリックし、検索ストリングに「実行できる処理」を使用して、System i ナビゲーターで実行できるタスクを検索します。

### System i ナビゲーターの概念

ネットワークの接続

System i ナビゲーターのネットワーク・コンポーネントを使用すると、システム上のネットワーク通信の構成および管理を行うことができます。ネットワーク通信に必要なインターフェース、経路、システムを構成するには、ウィザードを使用します。PING を使用して接続を検査し、経路ユーティリティをトレースします。その後、ネットワークをカスタマイズするためのさまざまな機能を選択します。例えば、Quality of Service (QoS) または 仮想プライベート・ネットワーク (VPN) を使用してネットワーク・トラフィックを制御して保護するために IP ポリシーを選択することも、あるいは Point-to-Point 接続を作成するためにリモート・アクセス・サービスを選択することもできます。

アプリケーション可用性の制限

アプリケーション管理を使用すると、特定のシステム上のユーザーやグループに対して、一部の System i ナビゲーター機能や他のアプリケーションなどの機能へのアクセスを、管理者が制限したり認可したりすることができます。また、管理者は、System i Access for Windows クライアントが使用するプロパティの多くを中央で管理したり、環境、パスワード、接続、サービス、および言語設定を中央で制御したりできます。

論理区画の管理

System i ナビゲーターを使用すると、論理区画情報へのアクセス、論理区画構成の変更、セキュリティ管理、およびシステムを再始動しないで処理リソースを変更することができます。System i プラットフォームでは、System i ナビゲーター、専用保守ツール (DST)、およびシステム保守ツール (SST) を使用して、ご使用の論理区画を管理できます。IBM システムおよびハードウェア、または 5xx などのモデル上で論理区画の作業をする場合の詳細な情報については、『システムの区分化 (Partitioning the system)』を参照してください。

複数システムの管理

マネージメント・セントラルを使用すると、1 つ以上のシステムで同時にタスクを管理することができます。タスク・スケジューリング、リアルタイム・パフォーマンス・モニター、修正 (または PTF) 管理、オブジェクトの配布、ユーザーおよびグループの管理、セントラル・システムからのコマンドの実行などのシステム管理を容易にします。

## System i ナビゲーターの概念 ハードウェアの管理

システム・ワークロードの管理

ネットワークの保護

データベース・レコードの作業

System i ナビゲーターを使用して、すべてのディスク装置とディスク・プールを構成、保護、および管理し、ミラーリングやパリティ保護を処理します。すべての独立型デバイスおよびテープ・ライブラリー内のすべてのテープ・リソースおよびカートリッジを表示することもできます。System i ナビゲーターの使用により、テープの複写、ボリューム・ラベルの表示または印刷、テープ・ライブラリーからのテープの排出、テープのフォーマット、テープ・カートリッジまたは磁気テープ装置の作成 (オンに変更)、磁気テープ装置の使用不可化 (オフに変更)、保管または復元されたテープの情報を印刷、ボリューム・コンテンツの印刷、およびテープのリソースのリセットが可能になります。

システム・ジョブはオペレーティング・システムによって作成されたものであり、システム・リソースを制御したり、システム機能を実行したりします。システム・ジョブは、システムが始動した時に、ユーザーによる入力なしで実行されます。これらのジョブは、オペレーティング・システムの開始、サブシステムの開始と終了、ジョブのスケジューリングなどのさまざまなタスクを実行します。ネットワーク・セキュリティとは、顧客、従業員、およびビジネス・パートナーが、一緒にビジネスを行うために必要な情報をセキュアな環境で入手できることを意味します。System i ナビゲーターには、いくつかの組み込みフィーチャーがあり、遭遇する可能性のあるセキュリティ・リスクに対して強力な防御壁を築くために役立ちます。System i ナビゲーターを使用すると、基本的なシステム・セキュリティ・ポリシーからすべてを構成して、エンドツーエンド VPN 接続、フィルター規則、アドレス変換、Secure Sockets Layer (SSL)、エンタープライズ識別マッピングなどを保護することができます。

System i ナビゲーターを使用すると、多くのデータベース・タスクを行うことができます。これらのタスクには、データベース・オブジェクトの作成および管理、データの挿入および変更、QUERY パフォーマンスのモニターおよび分析、およびデータベースのマップの作成があります。詳細については、『System i ナビゲーター・データベースを初めて使用する場合』を参照してください。

### 関連タスク

17 ページの『System i ナビゲーターのインストール』

System i ナビゲーターのフィーチャーはすべて System i Access for Windows に同梱されています。ユーザーの PC がハードウェアおよびソフトウェアの要件を満たしている場合は、System i Access for Windows をインストールする際に、System i ナビゲーター・フィーチャーをインストールする必要があります。

### 関連情報

マネージメント・セントラル

System i ナビゲーター、DST、および SST の使用による論理区画管理

 システムの区分化

ディスク管理

テープ

ネットワーク・セキュリティ







System i ナビゲーターのデータベースを初めて使用する場合  
サービス品質  
仮想プライベート・ネットワーク (VPN)  
リモート・アクセス・サービス : PPP 接続  
ネットワークング  
システム・ジョブ  
ジョブの管理  
アプリケーション管理

---


## System i ナビゲーターの関連情報

IBM Redbooks 資料、Web サイト、およびその他の Information Center のトピック・コレクションには、System i ナビゲーターに関連する情報が掲載されています。以下の PDF ファイルのいずれも表示または印刷できます。

### IBM Redbooks

- 「Managing OS/400® with Operations Navigator V5R1 Volume 1: Overview and More」
- 「Managing OS/400 with Operations Navigator V5R1 Volume 2: Security」
- 「Managing OS/400 with Operations Navigator V5R1 Volume 3: Configuration and Service」
- 「Managing OS/400 with Operations Navigator V5R1 Volume 4: Packages and Products」
- 「Managing OS/400 with Operations Navigator V5R1 Volume 5: Performance Management」
- 「Managing OS/400 with Operations Navigator V5R1 Volume 6: Networking」

### Web サイト

- System i ナビゲーター・ホーム・ページ 

System i ナビゲーター・ホーム・ページには、機能のリリース概要、技術会議に関するニュース、およびその他のトピックが掲載されています。

### その他の情報

- System i ナビゲーター (ワイヤレス対応)
- System i ナビゲーター・タスク (Web 対応)
- アプリケーション管理
- マネージメント・セントラル
- パフォーマンス
- i5/OS および関連ソフトウェアの保守管理
- System i ナビゲーター・プラグインの作成

関連資料

3 ページの『「System i ナビゲーターについて」の PDF ファイル』  
この情報の PDF ファイルを表示および印刷することができます。

---

## 付録. 特記事項

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものです。

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒106-8711  
東京都港区六本木 3-2-12  
日本アイ・ビー・エム株式会社  
法務・知的財産  
知的財産権ライセンス渉外

以下の保証は、国または地域の法律に沿わない場合は、適用されません。IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプログラム (本プログラムを含む) との間での情報交換、および (ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、下記に連絡してください。

IBM Corporation  
Software Interoperability Coordinator, Department YBWA  
3605 Highway 52 N  
Rochester, MN 55901  
U.S.A.

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用することができますが、有償の場合もあります。

本書で説明されているライセンス・プログラムまたはその他のライセンス資料は、IBM 所定のプログラム契約の契約条項、IBM プログラムのご使用条件、IBM 機械コードのご使用条件、またはそれと同等の条項に基づいて、IBM より提供されます。

この文書に含まれるいかなるパフォーマンス・データも、管理環境下で決定されたものです。そのため、他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。一部の測定が、開発レベルのシステムで行われた可能性があります。その測定値が、一般に利用可能なシステムのものと同じである保証はありません。さらに、一部の測定値が、推定値である可能性があります。実際の結果は、異なる可能性があります。お客様は、お客様の特定の環境に適したデータを確かめる必要があります。

IBM 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公に利用可能なソースから入手したものです。IBM は、それらの製品のテストは行っておりません。したがって、他社製品に関する実行性、互換性、またはその他の要求については確認できません。IBM 以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者をお願いします。

IBM の将来の方向または意向に関する記述については、予告なしに変更または撤回される場合があります、単に目標を示しているものです。

本書には、日常の業務処理で用いられるデータや報告書の例が含まれています。より具体性を与えるために、それらの例には、個人、企業、ブランド、あるいは製品などの名前が含まれている場合があります。これらの名称はすべて架空のものであり、名称や住所が類似する企業が実在しているとしても、それは偶然にすぎません。

著作権使用許諾:

本書には、様々なオペレーティング・プラットフォームでのプログラミング手法を例示するサンプル・アプリケーション・プログラムがソース言語で掲載されています。お客様は、サンプル・プログラムが書かれているオペレーティング・プラットフォームのアプリケーション・プログラミング・インターフェースに準拠したアプリケーション・プログラムの開発、使用、販売、配布を目的として、いかなる形式においても、IBM に対価を支払うことなくこれを複製し、改変し、配布することができます。このサンプル・プログラムは、あらゆる条件下における完全なテストを経ていません。従って IBM は、これらのサンプル・プログラムについて信頼性、利便性もしくは機能性があることをほのめかしたり、保証することはできません。

それぞれの複製物、サンプル・プログラムのいかなる部分、またはすべての派生的創作物にも、次のように、著作権表示を入れていただく必要があります。

© (お客様の会社名) (西暦年). このコードの一部は、IBM Corp. のサンプル・プログラムから取られています。 © Copyright IBM Corp. \_年を入れる\_. All rights reserved.

この情報をソフトコピーでご覧になっている場合は、写真やカラーの図表は表示されない場合があります。

---

## 商標

以下は、International Business Machines Corporation の米国およびその他の国における商標です。

Advanced Function Printing

AFP

AIX

DB2  
i5/OS  
IBM  
iSeries  
NetServer  
OS/400  
Print Services Facility  
Redbooks  
System i  
xSeries

Intel、Intel (ロゴ)、Intel Inside、Intel Inside (ロゴ)、Intel Centrino、Intel Centrino (ロゴ)、Celeron、Intel Xeon、Intel SpeedStep、Itanium、Pentium は、Intel Corporation または子会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows NT および Windows ロゴは、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは、Sun Microsystems, Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における登録商標です。

他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標です。

---

## 資料に関するご使用条件

これらの資料は、以下の条件に同意していただける場合に限りご使用いただけます。

**個人使用:** これらの資料は、すべての著作権表示その他の所有権表示をしていただくことを条件に、非商業的な個人による使用目的に限り複製することができます。ただし、IBM の明示的な承諾をえずに、これらの資料またはその一部について、二次的著作物を作成したり、配布 (頒布、送信を含む) または表示 (上映を含む) することはできません。

**商業的使用:** これらの資料は、すべての著作権表示その他の所有権表示をしていただくことを条件に、お客様の企業内に限り、複製、配布、および表示することができます。ただし、IBM の明示的な承諾をえずにこれらの資料の二次的著作物を作成したり、お客様の企業外で資料またはその一部を複製、配布、または表示することはできません。

ここで明示的に許可されているもの以外に、資料や資料内に含まれる情報、データ、ソフトウェア、またはその他の知的所有権に対するいかなる許可、ライセンス、または権利を明示的にも黙示的にも付与するものではありません。

資料の使用が IBM の利益を損なうと判断された場合や、上記の条件が適切に守られていないと判断された場合、IBM はいつでも自らの判断により、ここで与えた許可を撤回できるものとさせていただきます。

お客様がこの情報をダウンロード、輸出、または再輸出する際には、米国のすべての輸出入関連法規を含む、すべての関連法規を遵守するものとします。

IBM は、これらの資料の内容についていかなる保証もしません。これらの資料は、特定物として現存するままの状態を提供され、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての

明示もしくは黙示の保証責任なしで提供されます。







Printed in Japan